

AMGソーシャルワーカー出張授業報告



困難事例①
 ○タイ人の男性 30歳 (来日1年程度、日本語可能)
 日本には日本語学校に通い、アルバイトをしていた。
 卒業後母国には帰らず、アルバイトを続けており、今後
 も日本で働きたいと思っている。就労ビザを申請したが、
 許可が下りなかった。
 ○ビザ：持っているが、10日後切れる。
 ○国民健康保険持っていたが、期限切れ
 ○独居、身寄りは日本におらずバイト先の社長のみ
 ○発熱、左大腿部の痛み、歩行困難となり救急搬送
 ⇒左大腿軟部組織感染(切開し膿を出す処置が
 必要)の診断で入院が必要

福祉を学ぶ大学生を対象に、
 ソーシャルワーカー(以下SW)が
 出張授業を実施。

『急性期病院における、外国人
 患者さんへの支援に困難を感じ
 た事例紹介』が今回のテーマ。

様々なリアルと福祉支援につい
 て、講師と学生が共に考えます。

私達は今後も各学校と協力し、
 未来のSWサポートに努めます。

